



商学部アワー & 学部長アワーのご案内

商学部では、学生と教員とのホットなコミュニケーションを大切に考えて、「商学部アワー」と「学部長アワー」を実施しています。授業のこと、商学部のこと、関学のこと等々、お気軽におしゃべりしに来てください。

商学部アワーは、授業期間中の毎週金曜日のお昼休みに、商学部棟1階の宗教主事室（商学部事務室隣）で実施しています。学部長アワーは、半期に一回程度、同様に宗教主事室で実施しています。商学部長の梶浦先生が、直接皆さんの相談にのってくれますよ。お楽しみに！

やめよう 自動車通学！ バイク通学も自粛！ —住民からの苦情続出—

春学期の自動車通学禁止・バイク通学自粛キャンペーンが実施されました。関学では自動車通学は全面禁止です。バイク通学も自粛にかかわらず、多くの学生がバイク通学をしています。そしてその6割近くが所定の駐輪場に駐輪せず、市道や学内の通路などにバイクを放置し、通行の妨げになっています（特に身体障害者の迷惑になっています）。近隣住民から苦情も出ています。歩行者の傍を猛スピードで走るなど運転マナーについても多くの苦情が寄せられています。2008年4月からは総排気量50cc 超のバイクでの通学が全面禁止となります。くれぐれも、自動車通学はしない、バイク通学は自粛してください。

電車で揺られて、また、大学と甲東園間の通学路で、友人との会話を楽しむ素敵な時間を楽しみましょう！

学術講演会報告

今年度2回の商学部主催学術講演会を開催しました。演題、講師等は以下のとおりです。

5月17日

演題：人民元の国際化と中国ビジネス

講師：桑田良望氏（みずほ総合研究所理事）

6月19日

演題：国際ビジネスにおける異文化コミュニケーション

講師：渡邊ニコル氏（ジャパン・インターカルチュラル・コンサルティング国際営業部長）

2007年笹森奨学金、 6人の受給者が決定

商学部奨励奨学金（笹森奨学金）の受給者6名が、5月9日の商学部教授会で決定。6月20日昼、基金拠出者である故笹森四郎名誉教授（元商学部教授）のご令室、笹森一枝氏を招いて商学部会議室で授与式が行われました。

同基金は1994年に設立され、年間支給枠6名のうち3名を外国人留学生の成績優秀者に、残る3名分を日本人成績優秀者に10万円の学資を支給するもので、これまで73名の学生が奨学金の恩恵に浴しています。

授与式当日、学生に奨学金を直接手渡された笹森一枝氏より、「故人は、第二次世界大戦前にアメリカの大学に留学され、大変な苦労をされました。奨学生の皆さん、特に留学生の方々も苦労があるでしょうが、頑張ってください。」と励ましの言葉をいただきました。



目指せエコキャンパス！ マイ水筒を持とう！

暑い夏がやってきました。つつい自動販売機やコンビニで飲み物を買いたくなりますが、ちょっと待って。12年前までは、あまりに使い捨てがひどくなるからという理由で、500ml のペットボトルは自主規制されていたのです。しかし、今やなし崩し的に

にペットボトルが広まり、いつの間にか罪悪感もなくなり、ペットボトルのゴミがあふれています。

清涼飲料水には大量の砂糖が入っています。健康のことも考えて、そして、小さな無駄遣いをやめるためにも、今年はマイ水筒を持ってみませんか？



春学期定期試験迫る！

今年度は6月はじめの麻疹（はしか）騒ぎで、あっと言う間に春学期も残りわずかとなってしまいました。授業が終わると2007年7月16日（月）～28日（土）に定期試験が行われます。定期試験はこの学期で学んできたことの理解度を「点検」する大切なイベントです。新入生の学生諸氏には初めての定期試験で不安な点も多いと思いますが、全力で頑張れば大丈夫！フェアな精神で悔いの残らないよう試験にのぞみましょう！

不正行為は厳禁です

試験を受けるにあたって、厳正な態度で受験してください。万一、不正行為があった場合には、商学部試験内規により、厳重な処罰が下されます。なお本学部では、今学期の全履修科目が0点となります。また、受験態度の悪い者には退場を命じることがありますから、十分に注意してください。

TOEIC 受験制度始まる！

TOEIC（トイーック）とは、Test of English for International Communication の略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。商学部でも、今年度の秋学期（11月）に TOEIC の試験を学生の皆さんに特別価格で、学内で受験していただけるよう制度を準備しています。定期試験が終われば長い夏休みが始まります。この機会に是非、このテストにチャレンジすべく準備をしましょう。なお、詳細は追って掲示などでご案内します。

学生の受賞

みずほ学術振興財団

第48回懸賞論文〔経済の部〕

2等 論題「市場経済と社会的規制」

内藤慎也さん （3年）

岡野雄治さん （3年）

佳作 論題「アジア経済と日本」

古田亜希さん （3年）

石田有希子さん （3年）

奥野将弘さん （3年）

有栖川有栖さんをつくる不思議の物語

優秀賞 「あたたかなもの」

小室郁子さん （3年）

教員の著書・出版

林 隆敏 教授

編著『監査論の基礎』（東京経済情報出版）

定価3,200円、2007年4月3日付け発行



学部長からの一言

今号には学生諸君の「受賞」を披露することができた。もちろん、知られざる活躍もあるであろう。若者が元気に活躍する世界は発展する。君たちが世界を動かす。

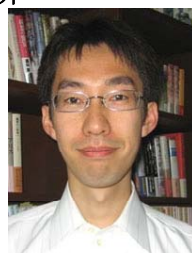
教員紹介



瀬見 博 教授

春学期の定期試験が終わると待ち望んでいた夏季休暇が始まります。特に1年生にとっては初めて経験する長い休みです。アルバイトで資金を貯めて国内外へ少し贅沢な旅行

をしようとか、クラブやサークル活動に専念しよう、地域のボランティア活動で汗を流そう等々、いろいろ心躍る楽しい計画を立てていることだと思います。しかし、暑い部屋の中で寝転がってしまいで読む機会がなかったやや難しい本を耽読しながら、「ああでもない、こうでもない」と様々に思いを巡らせ心を豊かにするのも一つの過ごし方です。知的遊戯こそ大学生に与えられている唯一の特権ですから、この機会に是非試してみたいはいかがでしょうか。



伊藤 正範 准教授

生まれは秋田、大学は仙台、初任地は釧路——その私がなぜか関西の住人になって早1年半。子供のころ、東北の片田舎で関西との接点といえばテレビぐらい。「じゃりん子チエ」

や当時ブームの漫才を見ながら、きっと関西にはテツや横山やすしのような人間がたくさんいるに違いないと、半ば好奇心、半ば恐怖とともに想像を膨らませていました。ちなみに皆さんの東北のイメージとは？ 私の地元の小学校では毎年冬になるとブルドーザーがやってきて、校庭にスキー場を作っていました。もちろん体育の授業は全部スキー。お互いに「異文化」かもしれませんね。

